

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	bee. for kids		
○保護者評価実施期間	～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年 2月 20日		～ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	0	(回答数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① 専門性を活かした個別支援 児童一人ひとりの発達特性や課題を丁寧にアセスメントし、個別支援計画に基づいた支援を行っている。専門的視点を取り入れながら、子どもの強みを活かした支援を大切にしている。	① 関係機関との連携体制の構築 地域の保育所や関係機関との連携体制の構築を意識し、情報共有や相談ができるネットワークづくりを進めている。必要な支援が生じた際に、速やかに訪問支援を開始できるよう体制整備を行っている。	① 職員の専門性向上 児童の多様な発達特性に対応できるよう、研修や事例検討を通して職員の専門性向上に努めていく。支援方法やアセスメント力を高めることで、より質の高い支援提供を目指す。
2	② 関係機関・家庭との連携 保護者との丁寧な情報共有を行い、家庭での関わり方についても助言を行っている。また、学校や関係機関とも連携し、子どもを取り巻く環境全体で支援を進められるよう努めている。	② 支援の質向上のための研修・情報収集 職員が保育所等訪問支援の役割や支援方法を理解できるよう、研修や資料共有を通じて専門性の向上を図っている。発達特性に応じた支援方法や保育現場との連携の在り方について情報収集を行っている。	② 関係機関との連携強化 学校や保育所、医療機関など関係機関との情報共有や連携をさらに強化し、子どもを取り巻く環境全体で支援が行える体制づくりを進めていく。
3	③ 子どもの主体性を大切にされた支援 子ども自身の興味関心や得意なことを大切にしながら、安心して挑戦できる環境づくりを心がけている。成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や社会性の育ちにつながる支援を行っている。	③ 実施に向けた運営体制の整備 支援開始時にスムーズに対応できるよう、支援の流れや記録様式、情報共有の方法など運営体制の整理を進めている。利用希望があった場合に円滑に支援提供ができるよう準備を行っている。	③ 支援内容の振り返りと改善 支援内容について定期的に振り返りを行い、利用児童や保護者のニーズを踏まえながら支援方法の改善を図る。より満足度の高い支援につながるよう継続的な見直しを行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 事業開始に向けた体制整備 現在、保育所等訪問支援および訪問支援事業については、利用ニーズや人員配置等の体制が整っておらず、実施に至っていない。今後、地域ニーズの把握や職員体制の整備を進め、円滑に事業開始できるよう準備を進めている。	① 利用ニーズの把握不足 現時点で保育所等訪問支援および訪問支援事業の具体的な利用希望が少なく、地域におけるニーズの把握や周知が十分でないことが、事業開始に至っていない要因の一つと考えられる。	① 地域ニーズの把握と事業周知 地域の保育所や学校、相談支援事業所等との情報共有を進め、保育所等訪問支援や訪問支援の必要性について理解を広げていく。関係機関との連携を通して地域ニーズを把握し、事業開始につなげていく。
2	② 事業周知の不足 事業の実施体制が整っていないこともあり、地域の関係機関や保護者への周知が十分とは言えない状況である。今後は関係機関への情報発信や連携を進め、事業の活用につながるよう取り組む必要がある。	② 人員体制の調整 既存事業の運営との兼ね合いもあり、訪問支援に対応できる人員配置や役割分担の整理が十分に進んでいないことが、事業開始の課題となっている。	② 人員体制の整備 訪問支援を実施できる職員体制や役割分担について整理し、既存事業とのバランスを考慮しながら実施可能な体制づくりを進めていく。
3	③ 専門的支援体制の強化 訪問支援の実施にあたり、保育現場や学校との連携を円滑に行える専門的知識や体制のさらなる整備が必要である。研修や情報共有を通じて職員の理解を深め、実施可能な体制づくりを進めていく必要がある。	③ 関係機関との連携体制の構築 保育所や学校など訪問先となる関係機関との連携体制や具体的な支援の流れについて、さらなる調整や準備が必要となる状況である。	③ 支援体制・運営体制の整備 訪問支援の実施にあたり、支援の流れや記録方法、関係機関との情報共有の方法などを整理し、スムーズに支援提供ができる体制を整えていく。

公表

保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 bee. for kids

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。						
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。						
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。						
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。						
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。						
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。						
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。						
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。							

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。					
	28	事業所の支援に満足していますか。					

公表	訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果
----	----------------------------

事業所名
bee. for kids

公表日	年	月	日
利用児童数			
	年	月	日
			回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。					
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		bee. for kids		公表日		8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・ 整 運 備 管 理	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		発達特性や訪問環境に応じた教材を選定しています	訪問先に応じた教材の拡充を進めています	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		利用見込みに応じた職員配置を調整しています	訪問支援開始に向け配置体制を整備します	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		会議等で目標設定と振り返りを共有しています	訪問支援を含む改善体制の充実を図ります	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者意見を把握し業務改善に活かしています	評価結果を継続的な改善に反映していきます	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員会議で意見交換し改善に活かしています	意見集約の仕組みをさらに整えていきます	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	外部の情報や助言を参考に見直しをしています	第三者評価の導入を今後検討していきます	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		研修参加や内部共有で資質向上を図っています	訪問支援に関する専門研修を充実させます	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		ニーズを丁寧に把握し計画作成に活かしています	訪問支援に応じた評価手法の整理を進めます	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	2		関係職員で支援方針を検討し共有しています	多職種で検討する体制をさらに強化します	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先の意向確認を踏まえ計画作成しています	訪問先との事前調整体制を整えていきます	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画を職員間で共有し対応しています	訪問支援計画の周知方法を明確にします	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		観察や聞き取りを踏まえ状況確認しています	標準化ツール活用の検討を進めていきます	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインを踏まえ具体的に設定しています	支援内容の明確化と共有を進めていきます	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画に沿って職員が連携し対応しています	計画共有の確認方法を整えていきます	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		支援前に内容確認と役割分担を行っています	訪問支援時の事前確認手順を整えていきます	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援後に振り返りを行い情報共有しています	振り返り内容の記録充実を図っていきます	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の方針や支援方法を尊重して対応しています	訪問先理解を深める連携を強化していきます		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回の支援記録を作成し改善に活かしています	記録様式の整理と活用方法を見直していきます
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的に意向確認し計画見直しを行っています	モニタリングの実施体制をさらに整えます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		会議には状況を把握した職員が参加しています	訪問支援開始に向け参画体制を整えていきます
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		関係機関と連携し支援体制づくりをしています	医療教育分野との連携強化を進めています
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		必要時に移行先との情報共有を行っています	就学移行時の連携手順を整理していきます
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		専門家助言や外部研修を活用し質向上を図ります	助言機会と研修参加の拡充を進めています
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		地域情報を収集し必要な連携を意識しています	地域会議等への参加機会を広げていきます
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		日頃から保護者と状況共有し理解を深めています	共有の頻度や方法の充実を図っていきます
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		家族支援に関する情報提供を行っています	家族向け支援機会の充実を図っていきます
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に運営規程や負担額を説明しています	より分かりやすい説明資料の整備を進めます
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問先施設へ事業目的等の説明を行っています	説明機会と資料の充実を図っていきます
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		意向確認の機会を設け計画作成に活かしています	意思確認の方法をさらに整えていきます
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		計画内容を説明し同意を得て支援しています	説明資料の分かりやすさ向上を図っていきます
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		相談に応じ必要な助言や支援を行っています	相談対応の継続性をさらに高めていきます
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2	個別相談等で保護者支援を行っています	交流機会の設定について今後検討していきます
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談受付体制を整え迅速な対応をしています	周知方法と対応記録の充実を図っていきます
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		必要な情報を通信等で分かりやすく発信しています	発信頻度と内容の充実を図っていきます
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の管理と取扱いに十分留意しています	管理体制の点検と周知を継続していきます
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		特性に応じた伝達方法の工夫をしています	分かりやすい情報提供の工夫を進めていきます
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先の相談に応じ必要な助言を行っています	相談対応手順の整理を進めていきます

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		支援後に訪問先と振り返り共有を意識しています	カンファレンス実施体制の整備を進めています
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		支援後に家族へ内容共有を行うようにしています	共有方法と記録体制の充実を図っていきます
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の管理と取扱いに十分留意しています	管理体制の点検と周知を継続していきます
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		相談に応じ信頼関係を大切に助言しています	専門的助言の質向上に努めていきます
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各種マニュアルを整備し周知と訓練をしています	非常時訓練の継続実施と見直しを進めます
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画に基づき研修訓練等を実施しています	安全管理体制の継続的な点検を行います
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットを共有し再発防止を検討しています	共有方法と再発防止策の充実を図っていきます
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止研修を行い適切な対応に努めています	虐待防止意識の継続的な向上を図っていきます
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		身体拘束の必要性と手順を組織で確認しています	やむを得ない場合の説明体制を整えています